

# 革命

29号 2頁 20円  
毎月1日・15日発行  
発行所  
東京都豊島区西池袋3-4-2  
現代社  
電話 東京 (03) 3429  
接嘴口池袋駅一142518  
編集人 田中五郎  
印刷所  
6ヶ月12回送料共300円

万国の労働者団結せよ  
日本社会主義青年同盟  
学生連協会 解散派

## 4.20に総決集し、4.26-28 を全国ストで闘い抜け!

### 全国委員会書記局

(一) 反安保闘争の激化  
安保闘争は、この数ヶ月間、激化の一途を辿っている。学生、労働者、市民の連帯が、政府の暴行を打ち破るために必要である。

(二) 4.20の総決集  
4月20日(日)午後6時、池袋からライキ決起をしよう。この日、全国で決起集会が行われ、反安保闘争の熱気が高まる。

(三) 4.26-28のスト  
4月26日(土)から28日(月)まで、全国でストライキが行われる。この期間、学生、労働者、市民は連帯して闘い抜く。

(四) 共同闘争  
学生、労働者、市民の共同闘争は、反安保闘争の鍵である。三者が力を合わせて、政府の暴行を打ち破る。

(五) 反安保闘争の長期化  
反安保闘争は、長期化する可能性がある。政府は、この闘争を打ち破るために、あらゆる手段を講じている。我々は、この闘争を最後まで闘い抜く覚悟で臨む。

## 「学生参加」「秩序の維持」の 中教審答申を粉砕せよ

中教審の答申は、学生参加を認め、秩序の維持を主張している。これは、反安保闘争の激化を招くための策である。我々は、この答申を粉砕し、学生参加を認めないことを要求する。

中教審の答申は、学生参加を認め、秩序の維持を主張している。これは、反安保闘争の激化を招くための策である。我々は、この答申を粉砕し、学生参加を認めないことを要求する。

中教審の答申は、学生参加を認め、秩序の維持を主張している。これは、反安保闘争の激化を招くための策である。我々は、この答申を粉砕し、学生参加を認めないことを要求する。

### 春闘・沖繩

## 四八首都青年労働総決起集会

反合し反安保で春闘勝利、佐藤政府打倒！  
沖繩労働者と連帯し4.20(日)午後6時、池袋からライキ決起をしよう！

日時 四月八日午後六時  
場所 目黒公会堂(池袋から徒歩15分)

特別報告 沖繩青年労働者代表  
共同闘争 七〇年安保を闘う青年労働者の任務反戦、反ファシズム、反合の行動委員会運動のため

主催 日本社会主義青年同盟東京地区本部

(一) 反安保闘争の激化  
安保闘争は、この数ヶ月間、激化の一途を辿っている。学生、労働者、市民の連帯が、政府の暴行を打ち破るために必要である。

(二) 4.20の総決集  
4月20日(日)午後6時、池袋からライキ決起をしよう。この日、全国で決起集会が行われ、反安保闘争の熱気が高まる。

(三) 4.26-28のスト  
4月26日(土)から28日(月)まで、全国でストライキが行われる。この期間、学生、労働者、市民は連帯して闘い抜く。

(四) 共同闘争  
学生、労働者、市民の共同闘争は、反安保闘争の鍵である。三者が力を合わせて、政府の暴行を打ち破る。

(五) 反安保闘争の長期化  
反安保闘争は、長期化する可能性がある。政府は、この闘争を打ち破るために、あらゆる手段を講じている。我々は、この闘争を最後まで闘い抜く覚悟で臨む。

(一) 反安保闘争の激化  
安保闘争は、この数ヶ月間、激化の一途を辿っている。学生、労働者、市民の連帯が、政府の暴行を打ち破るために必要である。

(二) 4.20の総決集  
4月20日(日)午後6時、池袋からライキ決起をしよう。この日、全国で決起集会が行われ、反安保闘争の熱気が高まる。

(三) 4.26-28のスト  
4月26日(土)から28日(月)まで、全国でストライキが行われる。この期間、学生、労働者、市民は連帯して闘い抜く。

(四) 共同闘争  
学生、労働者、市民の共同闘争は、反安保闘争の鍵である。三者が力を合わせて、政府の暴行を打ち破る。

(五) 反安保闘争の長期化  
反安保闘争は、長期化する可能性がある。政府は、この闘争を打ち破るために、あらゆる手段を講じている。我々は、この闘争を最後まで闘い抜く覚悟で臨む。

### スケジュール

4.8	首都青年労働総決起集会
4.20	反安保闘争第三総決一行動
4.26-4.28	全国連統ストライキ
	反政府国会闘争

4.26-28沖繩・安保全国職場・学園をストライキの波で埋め尽くせ!

## 岩の上にかげらの世界を

### 東大全学共闘会議編

輝やかなしい戦闘の中間総括1500枚！  
全国学園闘争を闘うすべての友へ  
われわれはかく闘った……



連帯を求めて孤立を恐れず  
力及ばずして倒れることを辞さないが  
力尽さずして挫けることを拒否する

本書の内容 序 山本徳雄 I 医学部闘争 II 闘争の全学化と新しい闘争主体の成立 III 第一次総決起の展開とその大衆的動向 IV 闘争の深化と既成大学体制の根底的動揺 V 文学部闘争と6日間の闘争 VI 全学封鎖の提議 VII 紛争取捨共同性 VIII 武装闘争 IX 全国学闘による武闘 X 闘争の展開 XI 東大闘争は不滅である 東大闘争日誌 資料 東大闘争

岩の上にかげらの世界を 700円

近所の書店へ予約してください 東京都千代田区神田神保町1-51/振替(東京)144037 友成紀書房

